

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会  
地上業務委員会(第16回) 議事概要 (案)

1 開催日時

平成23年6月28日(火) 15:00~17:00

2 場所

金融庁13階 共用会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[専門委員]

三瓶 政一(主査)、足立 朋子、飯塚 留美、小坂 克彦、阪田 史郎、佐藤 明雄、  
佐藤 孝平、高野 祐美子、中津川 征士、中村 勝英、橋本 明

[説明者]

新 博行、小松 裕、高尾 鉄也、丹野 元博、藤井 啓正

[事務局]

中里補佐、山崎係長、中村官(移動通信課)

4 配付資料

資料地-16-1	地上業務委員会(第15回) 議事要旨(案)
資料地-16-2	ITU-R SG5 WP5D第10回会合報告書(案)
資料地-16-3	ITU-R SG5 WP5D第11回会合への日本寄与文書(案)
資料地-16-4	ITU-R SG5 WP5D第11回会合への対処方針(案)
参考資料1	新勧告草案M. [IMT. RSPEC]の最終化に関するリエゾン文書
参考資料2	勧告M. 1580-3及びM. 1581-3の改訂作業の進捗状況に関するリエゾン文書
参考資料3	White Paper on Forecast of mobile broadband development in the Asia-Pacific Region
参考資料4	ITU-R SG5 WP5D第11回会合の開催案内
参考資料5	ITU-R SG5 WP5D第11回会合の日本代表団一覧
参考資料6	地上業務委員会 構成員名簿

## 5 議事概要

### (1) 地上業務委員会（第15回）の議事要旨について

#### 【資料地16-1】

地上業務委員会（第15回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は7月5日（火）までに事務局へ連絡する旨了承された。

### (2) ITU-R SG5 WP5D会合の報告について

#### 【資料地16-2】

事務局から、平成22年10月に開催されたWP5D（第10回）会合の報告があり、以下の質疑応答の後、軽微な修正を施し承認された。

（質疑応答）

三瓶主査：700MHz帯周波数アレンジメントの検討状況に関する日本寄与文書は、どのような位置づけでノートに記載されているのか。

事務局：M.1036はIMTの周波数アレンジメントに関して議論しているものであり、日本において当該周波数帯に関する検討を進めている段階であるが、日本の現状を入力しなければ今後の議論に影響がでてくるということで寄書を入力している。この内容が議長レポートに記載されている。

三瓶主査：他の国の状況についても議長レポートに記載されているのか。それとも日本の現状のみ記載されているのか。

事務局：議長レポートはその会合の報告書なので、今回は、寄書を入力した日本のみが記載されている。

飯塚専門委員：会合報告書に記載されている700MHz帯を用いたPPDRについて、ヨーロッパにおいてはPPDRの周波数はまだ決まっていないと理解しているが。

丹野氏：これはイスラエルの入力寄書に関する記述である。イスラエルのPPDRはこの帯域を使用しており、今回、IMTとの干渉検討に関する入力寄書に基づき議論が行われたことが報告書に記載されている。

### (3) ITU-R SG5 WP5D会合への日本寄書について

#### 【資料地16-3-1】

丹野氏から「研究課題ITU-R 229-2/5およびITU-R 77-6/5の改訂の提案」の寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

小坂専門委員：ITU-R M. [IMT, RSPEC]は承認されたのか。

佐藤専門委員：まだ承認されていない。早ければ2012年1月のRAで承認される。

【資料地 16-3-2】

丹野氏から「IMTシステムに関連するITU-R決議の改訂の提案」の寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、エディトリアルな修正が施され承認された。

(質疑応答)

足立専門委員：本資料P18の2.4節 view 1 & 2は、寄書概要に記載の該当部分と比べ簡略化されているように思われる。

丹野氏：修正及び追記させていただく。

【資料地 16-3-3】

新氏から「勧告ITU-R M. 1580及びM. 1581の改訂に関する考察」の寄与文書案の説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

小坂専門委員：不要輻射については、SG1のSMシリーズの勧告で大枠が規定されていると思うが、SMシリーズにおける勧告と本勧告との関係はどのようになっているのか。

新氏：大枠はSMシリーズの勧告で規定されており、個別の無線局の不要輻射は個別の勧告で規定されている。

【資料地 16-3-4】について

藤井氏から「新報告草案ITU-R M. [IMT. CRS]に向けた作業文書への修正提案」の寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

小坂専門委員：CRSに関するレポートはWP5A及びWP5Dにおいて作成している。2つのレポートの違いは何か。2つに分ける必要はあるのか。

佐藤専門委員：WP5Dで作成しているレポートは、IMTに特化したレポートである。なお、WP5Dにおける議論の結果については、WP5Aにリエゾン文書を送付している。

事務局：2つのレポートの取扱いについては、WP5A及びWP5Dの議長間で議論した結果、レポートを分けて作成することになっている。

【資料地 16-3-5】について

小松氏から「新勧告草案 IMT. MITIGATIONへの修正提案」の寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本専門委員：SG4のカウンセラーは本文書をレポートにしたい旨の話をしている。本

文書を勧告ではなくレポートとして作成する、もしくは共用改善技術の一部をSG4の勧告S. 1856に加え、それ以外はMシリーズのレポートにするという方法もある。もし、Mシリーズの勧告を作成したいのであれば、合同会合等でWP4A側と議論をする必要がある。

小松氏：SG4が言うように勧告S. 1856を改訂することも考えられるが、日本としてはMシリーズの勧告を作成したい。

佐藤専門委員：3.4-3.6GHz帯のFSSとIMTの周波数共用の話なので、IMT側はMシリーズの勧告を確保したい。しかし、拙速に解決を見出すのは得策ではないので、もう少し待ってみてはどうか。

橋本専門委員：今年の11月に結論を出すのは困難であると思う。本文書を勧告としたのであれば時間をかけてSG4側を説得するように対処したほうが良い。

#### 【資料地16-3-6】について

高尾氏から「勧告M.1224改訂草案に含まれる用語削除候補の検討」の寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑はなく承認された。

#### 【資料地16-3-7】について

高野構成員から、「暫定新レポート案 [IMT.UPDATE]へ向けた作業文書の改訂提案」及び「暫定作業文書新レポート案 [IMT.UPDATE]への修正提案」の寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

#### (4) ITU-R SG5 WP5D会合への対処方針について

##### 【資料地16-4】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D会合への対処方針（案）について説明があった。

#### (5) その他

##### 【参考資料4～6】

事務局から各参考資料の説明があった。また、承認された寄書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上